

# 経営比較分析表（平成28年度決算）

北海道 湧別町

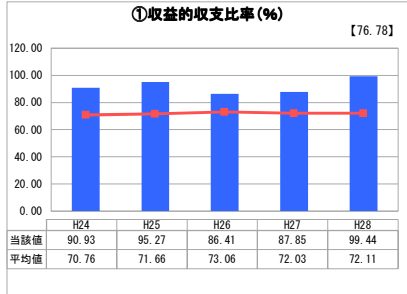
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	4.80	4,100	

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
9,203	505.79	18.20
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
437	16.12	27.11

**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- [ ] 平成28年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



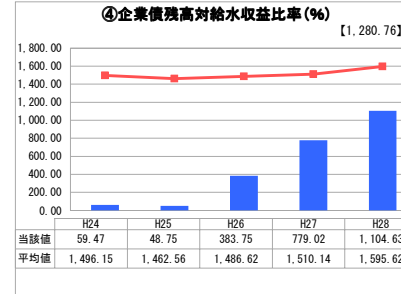
「単年度の収支」



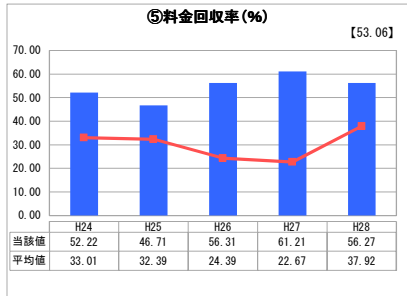
「累積欠損」



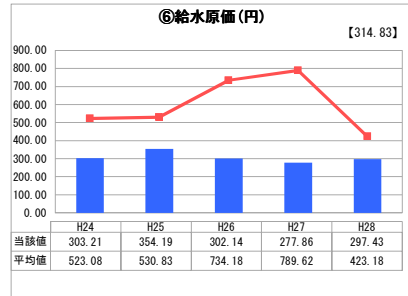
「支払能力」



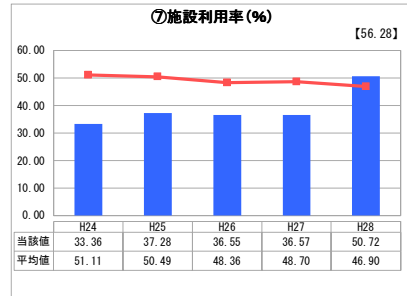
「債務残高」



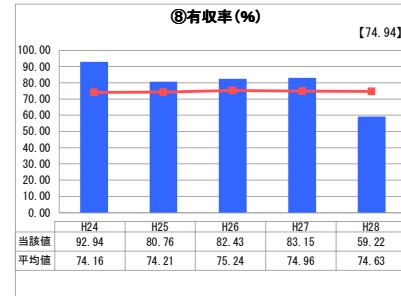
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

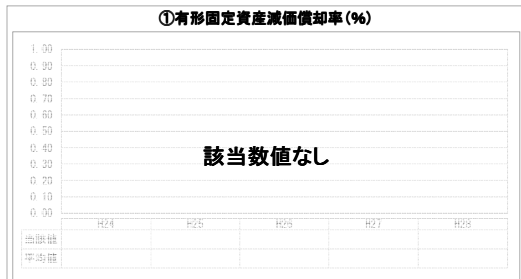


「施設の効率性」



「供給した配水量の効率性」

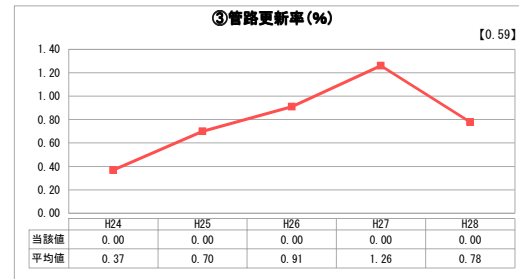
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率は平均より高いものの、水道事業に一部統合となり規模が大幅に縮小した平成23年度から収支で赤字となっており、一般会計からの繰入金により均衡を保っています。  
その他の項目については概ね平均より良好な経営状況ですが、平成32年度に水道事業との一部統合を予定しており、統合後の経営状況に注視しなければなりません。

### 2. 老朽化の状況について

川西簡易水道は平成18年度給水開始であり、施設・管路ともに比較的新しい設備のため老朽化については現在のところ問題はありません。  
開盛簡易水道は昭和60年給水開始のため管路の更新時期を迎えており、計画的に進めていく必要があります。

## 全体総括

本町の簡易水道事業については川西地区、開盛地区を簡易水道として事業を行っていますが、川西地区簡易水道において現在拡張整備しているところであり、給水開始予定の平成32年度に水道事業に統合することになっています。  
統合後は簡易水道事業は開盛地区のみとなりますが、遠軽町から給水を受けている現状のため、平成29年度から遠軽町への給水区域に拡張整備できないか協議を進めており、全てを水道事業に統合することを目指しています。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。